

バッハやヘンデル、スカルラッチェが活躍した18世紀よりも前の時代に、どんなタイプのチェンバロがどのように使われていたのか Let's 探索！



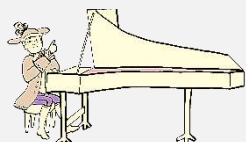
誕生から300年以上使用され続けた、羽軸（うじく＝クイル）で弦をはじいて発音する鍵盤楽器、主にチェンバロについて解説します。

## 古楽講座 vol.10 むかしの楽器～チェンバロ編 チェンバロ あれやこれや

2026年10月11日(日) 11:00-12:30 円形ホール

講師：	上尾直毅（チェンバロ奏者）			
対象者：	どなたでもご参加いただけます ※小学校入学前のお子様のお入場はできません。			
定員：	100人 ※先着順。定員に達し次第受付終了	受講料：	1,000円	
申込期間：	7月11日(土)10時～9月30日(水)15時 ※先着順。定員に達し次第受付終了。			
申込方法：	ホームページのフォームより申込み	[ <a href="https://www.kogaku.net/">https://www.kogaku.net/</a> ]→→		
問合せ：	新・福岡古楽音楽祭 事務局	✉ <a href="mailto:kogaku.fes@gmail.com">kogaku.fes@gmail.com</a> <a href="https://www.kogaku.net/">https://www.kogaku.net/</a>		

### ◆講師プロフィール◆ 上尾直毅（チェンバロ奏者）



東京藝術大学器楽科ピアノ専攻卒業。卒業後オランダに渡り、チェンバロとフォルテピアノを学び、それぞれソリストディプロマを得て卒業。2012年から雑司ヶ谷「拝鈍亭」にて行ってきたハイドンの「鍵盤独奏作品全曲演奏会」と「ピアノトリオ全曲演奏会」をそれぞれ2021年、2023年に完結した。2021年にアカデミア・ミュージック社から刊行された教則本「通奏低音の練習」は高い評価を得て絶賛発売中。